

野洲小学校

9月8日（金） 4年生
地域学校協働活動



江州音頭 指導支援

「右・左・さがって・さがって・そろえて・
歩いて・歩いて・拍手」

初めに、地域の方に見本を見せていただきました。まずは、掛け声と一緒に腕の動きを真似しながら覚えていきます。

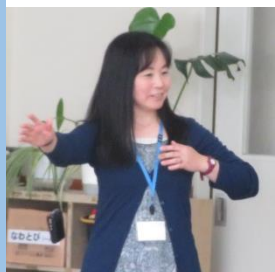
次に、みんなで2重の円になり、反時計回りで歩きながら踊りました。1回目の音楽が終わったあとにお茶休憩を挟みましたが、その間も賑やかな掛け声は途切れませんでした。

『腕の動きは左右や後ろの品物を指すもので、そのあと荷車を押して運び、最後は「お買い上げありがとうございます」と手を合わせます』

近江商人に由来する動きの意味を知った児童たちは、楽しそうに2回目の音楽に合わせて踊りました。1回目では「覚えられへん！」と戸惑いを見せていた児童たちも、すっかり動きを覚えて笑顔で楽しみました。

最後には「もう1回できる」「教室でも踊ろう！」と、終わりを惜しむ声も聞こえました。

地域の方と児童・教師の交流の機会は、顔見知りが増え、野洲っこたちを地域で見守る体制作りの第一歩となりました。昔から多くの人に親しまれてきた江州音頭を通じて、多様な世代が交流する地域を作るため、これからも活動を続けていきたいと思います。



野洲小学校の地域学校協働活動推進員が、感染症の流行前から途絶えてしまった活動を復活させようと、地域と学校をつなぎました。



児童たちは、
「最初は難しかったけど、後からやったら楽しかった」
「わけが分からなかったけど、分かるようになった」
「自信がついた」

などの感想を伝えてくれました。教えていただいた地域の方の「多少間違っても、みんなで踊って楽しんで覚えてほしい」という思いがよく伝わっていたようです。